

表彰者名 : 岸 由二 様 (神奈川県横浜市)

表彰理由 : 進化生態学、流域アプローチによる都市再生論、環境教育の専門家として、鶴見川流域を基本に都市再生活動、環境保全・防災支援活動等を推進され、「社会資本整備審議会河川分科会」や「鶴見川流域水委員会」などの委員を務めるなど、河川環境の保全、河川の整備の推進に貢献された。



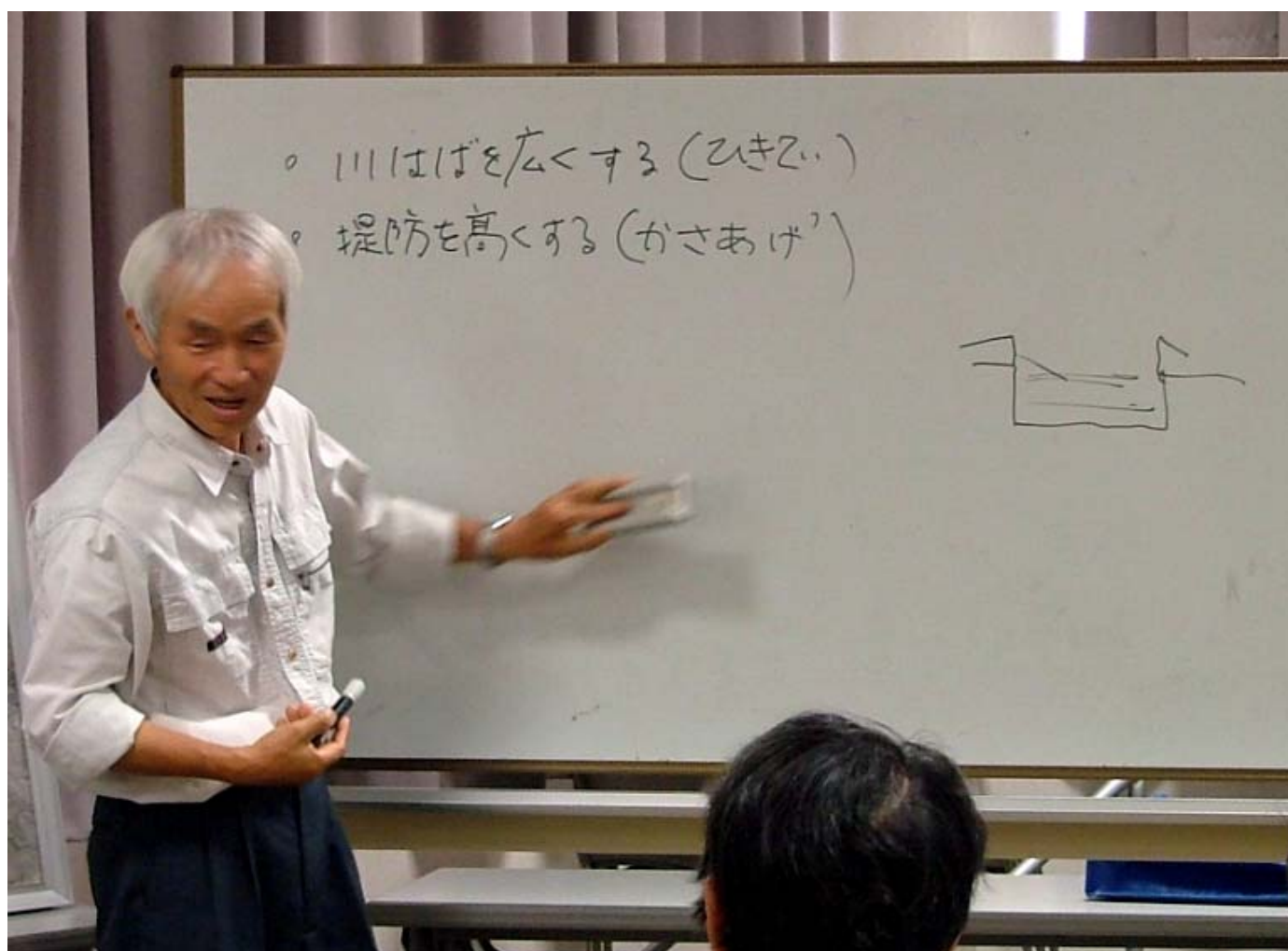


表彰者名 : 堤 久 様 (長野県松川町)

表彰理由 : 植物学の専門家として、貴重種保全や防災環境学習に関して顕著な功績をあげられるとともに、「天竜川水系河川整備基本方針検討小委員会」の委員や「天竜川水系の流域委員会」の委員を務めるなど、河川環境の保全、河川等の整備の推進に貢献された。



貴重種保全 (ツツザキヤマジノギクの保全と外来植物駆除)



防災環境学習 (講座「三六災害の歴史を学ぼう」)



表彰者名 : 松井 誠一 様 (福岡県福岡市)

表彰理由 : 魚類等の専門家として、「九州地方ダム等管理フォローアップ委員会」では生物系ワーキングの委員として、ダム・堰等における生物分野はもとより、ダム管理全般においても指導・助言され、河川環境の保全、河川の整備の推進に貢献された。





表彰者名 : 荒牧 軍治 様 (佐賀県佐賀市)

表彰理由 : 土木工学の専門家として、嘉瀬川水系河川整備計画の「学識者懇談会」委員長、「佐賀平野大規模浸水危機管理対策検討会」座長を務めるなど、嘉瀬川水系の治水・利水・環境や危機管理など幅広い分野において、河川の整備の推進に貢献された。

